

☑ お母さんのお便り⑩ 5分間暗示法で子どもが変わった②

七田先生、講演ありがとうございます。毎回新しい発見があり、なかなか大変な子育てに、体の中からフアイトがわいてくるのを感じます。

今年、年少組に入園した息子は落ち着きがなく、先生の目が離れるとどこかに行ってしまうって、先生方全員で捜し回っていました。凶鑑が大好きで、魚、鳥、動物など生物が大好きでしたが、今は車に移り、幼稚園には興味がなく、外に車を見に出て行ってしまおうのです。

家庭訪問では、「お母さんどうでしょう、困っています」と言われ、私もどうしたらいいか途方に暮れていました。その夜、暗示法を思いだし、とにかくやってみようと半信半疑で子どもの眠った顔を見ながらゆっくり話しかけました。

「Y君は幼稚園のお仕事（はさみ、野菜切り、縫いさしなど）が大好きになったね。お教室で一つひとつきちんと丁寧にお仕事ができるようになったね、Y君はすごいんだ。大きくなったらパパみたいに病気で困っている人た

ちをたくさん助けてあげるんだよね。だから神様がたくさんY君に力を授けてくださったよ。Y君は神様がくださった力でいっぱいになったよ。パパもママも先生もお友だちもみんなY君が大好き。気持ちよく眠って明日は元気に幼稚園に行こうね。おやすみ」

とゆっくりささやくように話しました。

たしかに不思議なことには、夜話した言葉の意味を朝「〜はどういうこと？」と尋ねてくるし、時々幼稚園に行きたくないとぐずぐずしているときは、早くしなさいと叱りつけるより、ゆっくり暗示したときの声で「大丈夫、さあ行こう」と私が言うのとハッとした顔をしてスーッと行くのです。

幼稚園のお誕生日カードに、「大きくなったら」というところがあって、先生が「何になりたい？」と尋ねたら、ぼくは北里柴三郎きたの しばさぶろうみたいになって病気の人を助けるんだと言ったそうです。暗示の効果はすごいですね。ほんの何分間か耳元でささやいていただけでした。